



寒さの中にも早春の息吹が感じられるところとなりました。
 今月のカモシカ通信は、現在上村で工事中の「平成24年度 天流川水系ツベタ沢砂防堰堤工事用道路工事」の状況と御池山クレーターの話題について紹介します。

本工事は昨年7月より工事を開始し8ヶ月が経過しました。現在の状況は工事用道路の橋梁部の施工を行っています。工事用道路の河川横断部にある旧橋梁を取壊し新しい橋を造るため、現在掘削および仮設の作業を行っています。
 橋の掘削は地元の生活道路の確保と近隣の住宅に影響を及ぼさないよう、掘削斜面に鉄筋を組みモルタル吹付けを行い、その後ロックボルトで斜面を一体化とする工法で作業を進めています。
 施工箇所には推定2,500tほどの巨石がひつつくように鎮座しています。安全を確保するため掘削斜面と巨石の挙動をセンサーで監視し、安全を確認しながら作業を進めています。

掘削作業状況

巨石



吹付け作業状況



ロックボルト作業状況



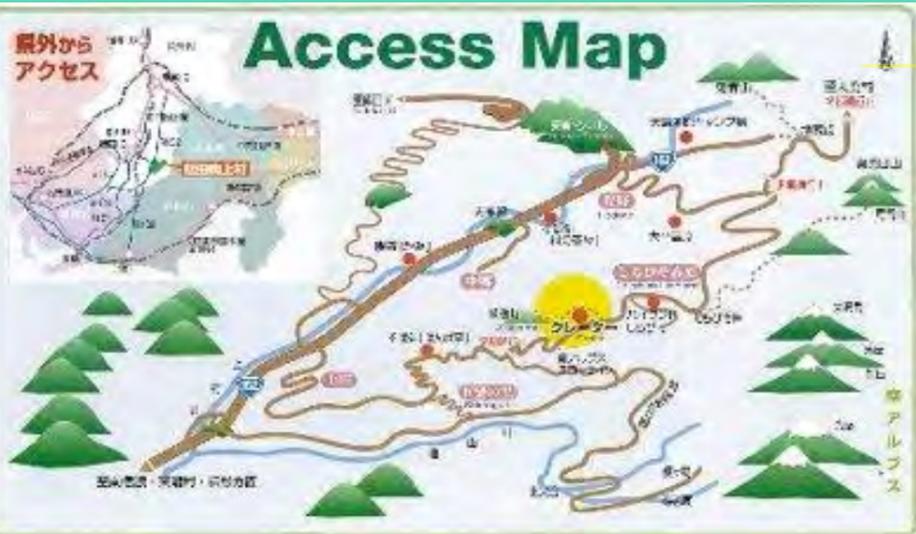
御池山隕石クレーター

御池山隕石クレーターは研究者により25年以上にわたって研究が進められ、その間国内外の学会に発表されました。平成22年には国際学会誌「隕石と惑星の科学」に論文が掲載され国際的な隕石クレーターとして公表されました。

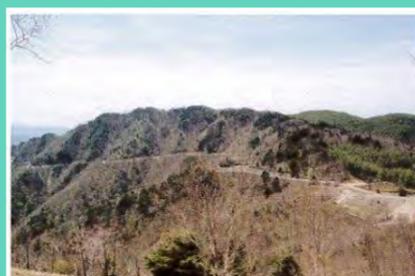
御池山隕石クレーターは直径約900kmで、直径約45mの小惑星（隕石の塊）がおおよそ2〜3万年前に御池山南東斜面に衝突したと推測されます。

隕石の衝突を示す主要な証拠は、石英の結晶内に形成された組織で、世界中にある約180個の隕石クレーターの中で最も多く研究報告されている物質です。

警報装置の設置状況



御池山隕石クレーターの円形構造を示す空中写真



▲丘の上展望台
 標高1877mの丘が、地上で最もよく見える展望台です。

(注意) 写真・表は、飯田市パンフレットより引用

「人と暮らしの伊那谷遺産」をご紹介します

＜お問い合わせ先＞
 天竜川上流河川事務所 砂防調査課 (TEL:0265-81-6417)

◎NO.13 羽衣崎橋(はごろもざきばし) 所在地:天龍村平岡～長島



下流から見る羽衣崎橋



アーチ部材と橋桁は斜めにケーブルで結ばれています



(国土地理院の数値地図25000(地図画像)を使用)

平岡ダムのダム湖にあるニールセンローゼ形式の橋です。

天竜川と遠山川の合流部に位置し、周辺は美しい渓谷が広がっています。「羽衣崎」と呼ばれ、春は桜、秋は紅葉が美しい景勝地です。

平岡ダムから県道を阿南町方面に進むと、緑色の美しいアーチ橋が見えてきます。現地は、青く澄んだ川に渓谷とアーチが映し出される美しい景色が広がっていました。

羽衣崎橋の詳細な説明は下記をご覧ください

